e-ビーフNEWS 北の牧場から

発 行 特定NPO環境リサイクル肉牛協議会

月刊情報誌 No.139

〒080-0351 北海道河東郡音更町字然別 北5線西25番地2 FAX 0155-40-7301

July 2025

十勝は、猛暑。

連日30℃超えの十勝がやってきた。6月で10日間あった。朝は3時ごろから明るくなり15度前後と涼しいが、お 日様が上がるとともに急変。日差しが痛い。十勝はやっと扇風機が各家庭に万度に着いたが、クーラーが昨年から 増えた。学校も議会の要請で設置が急がれているが、予算が足りないらしい。

牛の連日の暑さにグッタリ。昨年は、猛暑対策が効いて事故も少なく済んだが、今年はより注意喚起だ。 畑のデントコーンの80cmオーバーと大きく伸びた。除草剤使わないので、昨年シロザやイヌタデに負けた畑 も一歩奴らから顔を出し始めた。でもこの日照りに、雨不足が気になる。予報では先々、傘マークがない。お天道さ んとの会話とお願いが続く。



活動のお知らせ

6/5(木) 6/6(金) 6/23(月)

10/23(木)

帯広文化センター「COWS」上映会 参加者150名、うち当会10名 畜試へ移動 飼養技術研修会 **飼養技術研修会(2)場内種牛施設視察 環リ協第22回総会** 8名参加 新得 畜産試験場研修センター

長澤学長面談 シンポジウム共催依頼 了承 帯広畜産大学 第12回 北海道肉専用種枝肉共励会 北海道畜産公社 十勝工場

第22回 資源循環型肉牛生産シンポジウム2025

NEWSばか読み

- Alic 牛マルキン発動 21都道府県 枝肉需要が伸びず 6/2:消費低迷
- 農水省 初期入札米変換受入可能に 6/4:農政ありうるコロコロ行政
- 新潟、埼玉 水稲のドローン活用 夏の追肥拡大
- 6/4:熱射病スマート対応
- 農水省 4月農産品輸出15%増トランプ関税駆け込み6/4:
- 農水省 地域計画精査 農地耕作者不在6割の恐れ 高齢規模 縮小者から6/5:無策
- コメ スポット相場急落 随契米で引き締まる6/5;おちすけ
- 兵庫県 中国産冷凍野菜農薬基準超えで回収6/5:安心感無し 農水省、防衛省、農業団体連携で退職自衛官就農支援
- 6/7:新規屯田兵募集
- イオン カルロース本格販売6/7;選択の一つか扉を開けるのか 地方青果卸R&Cながの、首都圏同業吸収 流通再編続く
- 6/10:流通変化
- 家畜改良事業団 福之姫の子牛24万頭 歴代一位 6/10:系統集中
- ヤンマー 全国で営農型発電事業を1000ha 営農と脱炭素 6/12:可能な限り拡大
- 自民ほか給食無償化26年実施に向け制度設計開始 6/12:実現に期待、内容も課題 和牛子牛相場急騰 2割高に 枝肉低迷でも子牛不足 6/12:連動せず

- 乳牛大手 8月から牛乳・乳製品値上げ 価格転嫁 6/13:消費との兼ね合い
- 政府 自動運転農機の公道走行可能に6/14;スマート化推進 農水省 ランピースキン病の疑似患畜の殺処分判断 遺伝子
- 検査陽性で6/14:無駄に殺すことなく 農水省 バイオスティミュラントのガイドライン策定
- 6/16:情報収集

農相 コメの作況指数廃止6/17:実態把握はできていない

- 農水省 コメ流通全業者7万に実態調査を開始 在庫を把握
- 6/18:

全農 配合飼料7-9月2200円下げ2期連続6/20;高値変わらず

- ブラジル 鳥インフル清浄化宣言 輸入制限解除要請
- 6/20:ブラジル経済打撃大きく 農水省 小麦・大豆の保管施設30年度の3~4倍拡大
- 6/23:産地インフラ強化 JA古川 子実コーン栽培実証結果 最高収量1100kg
- 6/26:実用化に道

産総研 海水から肥料原料カリウム回収技術開発6/27:

● 農水省 SBS輸入米3万t9月流通 民間輸入増に対応 6/28:場当的見える

中国 日本産水産物を輸入再開 10都県除く 6/30:未解除地区へのこだわり

東京直近NEWS(6/29 Shi-REPORT)

市況相場は上々少ないが上げ基調にて推移し、産地相対相場も国産牛の 低価格クラスの引合いが強く取り合いの状況になっており、産地メーカー もプレ値で生産者から買付行い建値相場上昇中。

頭数の減頭が著しく、ホルスの取り合い模様で生産者も強気な状況。 販売面は逆に不需要期と梅雨入り、生活コスト上昇で牛肉への距離感が出 始めている。

それでも絶対頭数が不足している点と経産牛の供給も減少していることか ら一定の引合いは維持しているが切落しや赤身モモ中心で上位部位は不 振模様。冷凍パーツの在庫も不足しており、原料系の欠品の声も聞こえ始 めている。今後も大幅な頭数回復は見込めず、相場は高値維持していく可 能性が高い。

北海道内の出回り頭数の減少基調は継続課題。

北海道外の地域も減少儒教深刻で、道内市場への買参人は日々増加中。 生体輸送費コスト上昇でも、集荷課題クリアの意図から購買欲は強気変わ

依然として相場は高値維持上昇が続いている。

販売面もパーツ不足感強く、赤身モモ,バラ系ロインも余剰無し。

加工原料としての冷凍アイテムも不足しており、原料確保に苦慮し不安感

挽材はパーツよりも深刻な不足状況続いており目先の在庫も底をついて きている。定期定量販売分も不安感強まっており、この先の情勢が読めな くなりつつある。

畜産学研究NEWS

反芻動物の科学Ⅲヒートストレスとその対処 ELF Consulting Office 10/30/2024 Toyohiko Seno 6回シリーズ④







資源循環型肉牛生産シンポジウム 2024

転載・再利用は固くお断りします

話題提供2. 「活用事例 藤森商会と食の地域循環」3回シリーズ① 藤森商会 代表取締役社長 藤森 康容 氏















